



◆ 足早に秋本番の季節となりました。新型コロナウイルス感染状況の改善を踏まえ、今月から学校も通常登校です。これから過ごしやすい季節を迎えますが、この時期は、夏の疲れが出てきたり、昼夜の気温差に身体がついていけなかったりと、意外に体調を崩しやすいです。3年次生は、大学入学共通テストの出願も済み、いよいよ受験が現実のものとなってきました。自己の体調管理をしっかり行い、充実した生活を送りましょう。今号は進路資料室及び生徒ホール図書の利用法について改めてお伝えします。

■ 進路資料室の利用法 【B棟1階 生徒ホールの北隣】

◆ 進路資料室の利用時間……1～3年次、全年次生が利用できます

昼休み13:00～13:35 放課後16:00～17:00

※会議や教員出張等で止むを得ず閉室になる場合があります。

◆ 図書の貸出について

・ 貸出期間

1週間以内(例:月曜日貸出→翌週の月曜日までに返却)

※返却日が休日に当たる場合は、該当日の直前の登校日になります。例えば、月曜日に借り、翌週の月曜日が休日の場合は、金曜日が返却日になります。

・ 貸出冊数

一回に借りられる冊数は「1冊」です。

・ 貸出方法

1. 上図Aの机の上に「進路図書貸出カード」があります。それに記入し、書籍とともに隣室の「進路指導室(教員室)」に持っていき、担当教員に渡してください。

2. 担当教員のチェックを受ければ終了です。「進路図書貸出カード」は進路指導室で預かります。

☆☆貸出できる本……2021・2020年度の青本・赤本、職業案内、雑誌類(新刊を除く)など。

★★貸出できない本……2022年度の青本・赤本(新年度版)、大学入試問題正解(旺文社)など。

・ 返却方法

1. 借りていた書籍を持って進路指導室(教員室)に入ります。

2. クラスと番号、氏名を告げ、借りていた本を見せます。教員が預かっていた「貸出カード」と照合し、間違いがなければ、本をもとの書棚に返却(貸出カードは進路室で保管)します。以上で返却手続は終了です。

◆ 進路資料室の配置(次の丸数字は上図の番号)

①2022年度の「青本」「赤本」……貸出不可。「大学入試問題正解」「共通テスト攻略レビュー」等

②2021年度の「青本」「赤本」「大学入試問題正解」「共通テスト攻略レビュー」「難関校過去問シリーズ」等

③2020年度の「青本」「赤本」「大学入試問題正解」「センター試験過去問」「難関校過去問シリーズ」等

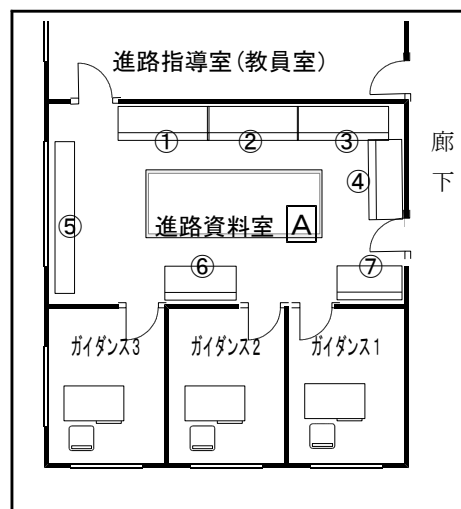
④「大学パンフレット」……貸出不可、必要ならばコピーすることができます。

⑤「2017～21年度、5か年分の推薦入試受験報告書」(先輩の体験が詳細に記述されています)

「国公立大学入試問題・解説」(本校の教員による入試問題解説集)

⑥「参考書」「小論文」「職業紹介」「別冊蛍雪時代」等…借りたい場合は担当教員に相談してください。

⑦「日経サイエンス」「Newton」「新聞ダイジェスト」等…借りたい場合は担当教員に相談してください。(裏面へ)



◆コピー機の利用について

進路資料室内にはコピー機があります。原則として生徒が使用することはできませんが、資料室内の貸出できない書籍については一人1日10枚までの範囲で利用することができます。2022年度の「青本」「赤本」(新年度版)など、貸出不可でどうしてもコピーしなければ活用できない進路資料室内の書籍に限り、コピーを許可しています。利用には「ICカード」による認識が必要となりますので、勝手に使うことはできません。利用したい場合は、進路指導室の担当教員の許可を得て、「コピー利用簿」に記入した上で使用してください。

◆生徒ホール図書の利用の仕方

生徒ホールの丸柱の周囲に赤本や進路関係の冊子が並んでいます。生徒ホールの図書は、休み時間や昼休み、放課後等いつでも利用可能になっています。整理整頓は、生徒の皆さん自身が自主的に行ってください。生徒ホールの赤本は自由貸出(一人2冊まで)です。ただし、一人が借りたままになると、他の人が利用できませんので、貸出期間は進路資料室と同じく、1週間以内です。赤本や雑誌関係は進路資料室に入りきれなくなった古いものですが(4年分、2016～19年度版)、それでも十分に役立つはずです。利用する皆さんがマナーを守り、思いやりの気持ちをもって活用してくれることを期待しています。

◆進路指導室・資料室前廊下の資料について

廊下には、大学の資料や模擬試験、予備校のパンフレット等が並べてあります。ここに並んでいるものは自由に持ち帰ることができます。

■1年次生へ 全国デビュー 初の進研模試 夏までの学習成果を問う 高1学習のスタートライン

7月の進研模試は、例年、全国で45万人以上の高1生が受験しています。初の全国規模の模試を受験した1年次生の皆さん、これから3年間、全国のライバルと切磋琢磨していくこととなります。個人成績票に記された結果は、全国における皆さん一人ひとりの高1学習のスタートラインを示しています。模試やテストは終わった後が大切です。良い位置につけた人も、そうでない人も模試の振り返りや解き直しをしっかりと行いましょう。模試は、これまでの学習内容を問い、自分の課題を把握するためにも有効です。自分の弱点も明らかにしてくれます。本当の意味での「高1学習のスタート」に向け、見つかった課題は早期に克服しておきたいところです。

■2年次生へ 半年ぶりの進研模試 初記入の志望校を起点に「新たな目標設定」を!

1年次同様、7月の進研模試は、例年、全国で45万人以上の高2生が受験しています。高1の1月以来、半年ぶりの記述模試でした。この半年間で学力がどのように変化しているかを正確に見極めましょう。茨城県の高校生は、1年から2年、2年から3年と年次をまたいだ時、全国の高校生に比べて学力の低下する度合いが大きいとされます。年次が上がるとともに成績もアップする、是非こうありたいものです。今回の模試から志望校記入が可能となりました。志望校に必要な教科の力はどれくらいか? オープンキャンパス(WEBも含む)に参加した大学のB評価基準はどれくらいか?などを調べてみましょう。志望校記入については、志望校4枠を全て記入できたでしょうか。視野を広げ、いろいろな大学に目を向けてみることもこの時期には必要です。次回の11月進研模試(理社が加わり5教科となる)を見据えて、国数英3教科のバランスがとれているか(どの教科にヌケ・モレがあるか)? どうすれば志望校の評価がアップするのか? どの教科のどの分野を伸ばすのか?などを分析してみましょう。

■3年次生へ 2022年度大学入試の出願が始まる いよいよです

冒頭で記したように、先月末(9月28日)、大学入学共通テストの出願は滞りなく済みました。来春の入学に向けた大学入試の先頭をきり、基礎学力や面接などで評価する総合型選抜(旧AO入試)の出願が始まっています。総合型選抜に続き、来月1日からは、学校推薦型選抜(旧推薦入試)の出願も始まります。

3年次生は秋本番を迎え、受験勉強も本格化します。夏に確立した学習習慣を土台に、これからの3か月は学習の中身、質を高めていきましょう。必ず量は質に転化します。

